

## 役員を選任について

### 1 役員候補

会 長	広島市長（日本）	
副会長	長崎市長（日本）	
	ハノーバー市長（ドイツ）	
	マラコフ市長（フランス）	
	マンチェスター市長（イギリス）	
	モンテンプル市長（フィリピン）	
	ボルゴグラード市長（ロシア）	
	アクロン市長（アメリカ）	
	クライストチャーチ市長（ニュージーランド）	
	フィレンツェ市長（イタリア）	
	ラークダル市長（ベルギー）	
		計 11名

### 2 参考

<b>平和市長会議規約（抜粋）</b>	
<b>第3章 役員</b> (役員)	
第4条 この機構に次の役員を置く。	
会長	1 名
副会長	若干名
理事	若干名
2 会長及び副会長は、総会において連帯都市の市長の互選によって決定する。	
3 会長は、この機構を統轄及び代表し、会議の議長となる。	
4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代理する。	
5 理事は、会長が連帯都市の市長の中から選任する。 なお、選任にあたっては、地域性を配慮して行うものとする。	
6 理事は、会長及び副会長を補佐し、この機構の円滑な運営を図るものとする。	
(任期)	
第5条 役員任期は、次期総会において新たな役員が選任されるまでの間とし、再任を妨げない。	
2 前項の規定にかかわらず、役員に選任された連帯都市の市長が、当該市長の職を退任し、又は辞任した場合は、後任の市長を役員とする。この場合において、任期中退任し、又は辞任した役員の後任者は、前任者の残任期間とする。	